

第41回 「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」結果概要

○日時 令和7年8月19日（火）午前10時00分～午前10時50分

○場所 ライトキューブ宇都宮 大会議室201

○内容 1 開 会

2 あいさつ（森本委員長）

3 設置要綱の一部改正について

4 議 題

- ・ 駅西側の交通結節点等の検討状況について
- ・ 「軌道運送高度化実施計画」の策定に向けた取組について

5 その他

6 閉 会

【会議結果】

5 議 題

- ・ 駅西側の交通結節点等の検討状況について

【各委員，了承】

- ・ 「軌道運送高度化実施計画」の策定に向けた取組について

【各委員，了承】

【主な発言の要旨】

5 議 題

- ・ 駅西側の交通結節点等の検討状況について・・・資料2

【事務局】

- ・ 資料2説明

【行政アドバイザー】

- ・ 2ページで、桜通り十文字はバスとの乗り継ぎ、終点の教育会館は自動車との乗り継ぎの説明があったが、重要な箇所になると思われる。
- ・ 従前、バスでJR宇都宮駅に行く人は、バスに乗れば乗り継ぐことなく駅に行けたが、駅のある中心部は渋滞していたので時間がかかっていた。
- ・ 今回、バスからライトラインに乗り換えることで早く駅に行くことができるのはメリットが大きいが、ライトラインに乗り換えをしなければならないようになるのは不便だと思われる。
- ・ 安全かつスムーズな乗り換えができるよう、これまでのJR宇都宮駅東側区間のノウハウや知見を活用しながら工夫してほしい。

【事務局】

- ・ バス路線再編については、「交通ネットワークをどのようにしていくか」、「乗り継ぎのポイントについていかに乗り継ぎをしやすくしていくか」、「乗り継ぎ抵抗となる料金体系について、乗り継いでも負担を少なくできるか」をバス事業者と協議しながら検討していきたい。

【森本委員長】

- ・ フィジカル空間をシームレスに乗継抵抗をなくすことと、サイバー空間の中でも料金抵抗や乗継時間を合わせていくなど工夫があると思うので検討してほしい。
- ・ 前回の検討委員会からタクシー空間の位置を変えてバスと一体的な案が出てきているが、中身の再配分についてはこれから定めていき、今回は概念的な議論であり、来月には西側の駅前広場についての議論を行うと聞いている。
- ・ その他ご意見なければ、原案にご了承いただいたということでよいか。

【各委員 了承】

・ 「軌道運送高度化実施計画」の策定に向けた取組について・・・資料3

【事務局】

- ・ 資料3説明

【森本委員長】

- ・ 委員の意見を伺う前に、「交通結節点等基盤整備部会」の部会長である岸井委員と、「LRT整備効果検討部会」の部会長である長田委員から補足等あればお願いする。

【岸井委員】

- ・ 「交通結節点等基盤整備部会」で議論を重ねてきた内容について、本日紹介させていただいた。
- ・ 1点目は、ライトラインそのものの空間的な構成、あるいはライトラインが導入される道路の空間構成について、合理性をもって説明できるか議論を重ねてきた。
- ・ 2点目は、バスネットワークとの結合を考えており、駅や周辺地域まちづくりと一体となった結節点の考えを議論してきた。
- ・ 「軌道運送高度化実施計画」に結び付くような内容を議論することになるが、ライトラインの合理性・結節点の周りの状況を見ながら議論し、まちづくりとしてどう良いものにしていくかが次の段階であると考えている。
- ・ 事業を進めるためには、「軌道運送高度化実施計画」を早期に出す必要があるもので、これに必要な準備を着実に進めていきながら、周辺の皆様と意見交換をしつつ、受け入れられるライトラインにしていきたい。
- ・ 「整備効果検討部会」とも議論して「軌道運送高度化実施計画」について検討していきたい。

【長田委員】

- ・ 「整備効果検討部会」においては、「軌道運送高度化実施計画」の策定に向け、ライトラインの整備による間接効果をどのように計画内に組み込んでいけるか検証している。
- ・ 前回の検討委員会で森本委員長からもご意見いただいたとおり、ライトラインの整備による効果については、既に駅東側で発現した効果を整理・検証し、数値化して本委員会でも示してきたところである。

- ・ 現在、間接効果としてどのような項目を追加できるか選定すべきか、またどのような効果を貨幣換算化して組み込めるか、「(仮称)宇都宮Model」として「整備効果検討部会」で検証を進めているところであり、具体的な項目や数値化が整ったら改めて本検討委員会でもご議論いただきたいと考えている。
- ・ 今後についても、「交通結節点等基盤整備部会」とも連携しながら、ライトラインの整備による効果を検証していく予定である。

【行政アドバイザー】

- ・ 今回整備する区間では、R30曲線が3箇所あり、JR宇都宮駅付近の勾配が60%となっているが、鉄道の考え方では、勾配が変化する箇所において車輪が持ち上がる方向に力が働き、若干安定性が落ちるとされている。
- ・ また、曲線区間にはカントがあり、曲線の始終点付近は外軌側のレールを持ちあげるため、線路がねじれるような区間となり、安全性がやや落ちる。
- ・ 今回の計画では勾配の変化点と曲線区間がかなり接近するので、設計については離隔距離をどうするのかよく検討いただきたい。
- ・ 鉄道側の基準では勾配と曲線が変化する区間は競合させないとの基準もある。
- ・ JR宇都宮駅西側区間には駅から出たところにシーサスクロッシングがあり、このよう分岐がある箇所も鉄道でいえば安定性がやや落ちる箇所である。
- ・ 勾配・曲線・分岐の位置関係をどのようにするかというところが安全上、重要となってくる。
- ・ あくまで鉄道の知見であるが、路面電車なので鉄道の知見だけで判断するのは難しいところもある。
- ・ 駅東側の脱線時に鉄道総研からアドバイスをいただいていると思うが、必要により専門機関のアドバイスを受けるなど慎重に検討いただきたい。

【森本委員長】

- ・ 高坂委員から関連してご意見などあればお願いします。

【高坂委員】

- ・ サービス水準の所要時間について、今回の区間は60%勾配の下り上りがあること、全体的に勾配区間に停車しなければならない停留場が多いことから、「軌道運送高度化実施計画」の申請上については上り20分、下り22分と試算しているが、実際に運転する側としては、下りは停車しづらいことから想定よりも時間がかかる。
- ・ 「軌道運送高度化実施計画」の申請には試算値が必要だとは思いますが、市民に対して開業前からサービス水準が刷り込まれるのは疑義がある。
- ・ こういった水準は車両数にもかかわるため、所要時間や安全性の検討には配慮してほしい。

【事務局】

- ・ 行政アドバイザーからの意見であるが、勾配、曲線案を作る上で、駅東側の脱線した際の内容・問題を踏まえ、鉄道総研や当時の有識者からこれらの案について議論してもらい、一定安全を確保できるとの結論をいただいている。
- ・ 安全が重要ということは我々も認識しており、今後詳細を検討する中で、さらにお客様が安心・安全に乗車できるような工夫をしっかりと検討していきたい。
- ・ 所要時間については、今回はたたき台として示した。
- ・ 「軌道運送高度化実施計画」を申請する上では、宇都宮ライトレール株式会社と今後そういった話もしっかりつめながら、利用者に過度の期待を持たせないように検討していく。

【森本委員長】

- ・ 10月に「軌道運送高度化実施計画」を申請するという事なので、今日議論した内容をベースに申請すると思われる。
- ・ 安全性も含めて空間の設計やまちづくりなどの観点などは、走りながら検討していくと思うので、関係機関としっかり調整し、地域住民にも協力をいただきながらまちづくりと連携して進めてほしい。
- ・ その他ご意見がなければ、原案にご了承いただいたということでよろしいか。

【各委員 了承】

【森本委員長】

- ・ 以上で、本日の議事は全て終了した。
- ・ 最後に、今回から初めて参画いただいた田中副市長から何かあればお願いします。

【田中副市長】

- ・ 本日、交通結節点等の検討状況と「軌道運送高度化実施計画」の策定に向けた施設計画や路線計画、需要予測、整備効果について説明させていただいた。
- ・ これらの内容はかなり先導的な取組を含んでいると考えている。
- ・ 駅前広場のウォークアブルな形や、機動的な今後の様々な需要に対応する形であるなど、様々な工夫をしているが、今後詳細を詰めていく上でそれらを具体的な形として実現できるようしっかりと取組んでいきたいと考えているので、引き続き忌憚のないご意見をお願いします。

【森本委員長】

- ・ 最後に2点コメントさせていただく。
- ・ 1点目は、JR宇都宮駅西口の駅前広場について、9月に駅前広場について議論する懇談会もあり、まちづくりとの連携ということで、2030年代～2050年代までの中長期的な絵を描きながら進めている。
- ・ 可変性のある程度担保しながら利便性を高め、JR宇都宮駅西側は今後宇都宮市の顔になっていくと思うので、景観的な要素も極めて重要である。
- ・ 空間的な形としては、人中心の交通にするということで、できるだけ人が楽しめるような空間を広めにとりながら議論を進めていくので、これから極めて難しい調整になっていくと思うが、皆様からの協力をいただいて前に進めていただきたい。
- ・ 2点目は、できるだけ早い時期の開業は宇都宮・芳賀の悲願でもあるので、関係機関はぜひ協力をお願いします。
- ・ 電停周辺のまちづくりが活発化するよう、電停の周辺は地域住民が自ら空間づくりをしていくことが大切であり、今回の検討委員会で議論する内容ではないがまちづくりの流れと波長を合わせてほしい。

4 その他

【森本委員長】

- ・ 最後に，事務局から連絡事項などがあればお願いします。

【事務局】

- ・ 次回の検討委員会については，後日，改めて案内させていただく。

【森本委員長】

- ・ 進行を事務局にお返しする。

【事務局】

- ・ 以上で，本日の会議を終了する。